

第6次総合計画 基本構想「めざすまちの姿」検討シート（④文化・国際交流）

（1）市民ワークショップ「タカラ ミライ ラボ」提言書

めざす まちの姿	文化・歴史街道 たからづか
実現した ことを確認 する方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育現場でこどもが宝塚の歴史に親しんでいる。</li> <li>・ 宝塚の文化・歴史が十分に発信できている。</li> <li>・ 大人（市民・観光客）が宝塚の歴史に親しんでいる。</li> </ul>

（2）主な社会経済動向

**文化芸術施策の推進**

- ・ 平成 29 年 6 月に文化芸術振興基本法が一部改正。観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育、産業などの関連施策と有機的な連携を図ることにより文化芸術を推進

**価値観やライフスタイルの変化**

- ・ 増加する在日外国人との共生に対する社会の意識の高まり

（3）主な宝塚市の現状認識や特性

**文化・国際交流**

- ・ 文化施設の利用は増加傾向（2020 年春に文化芸術センターが開設）
- ・ 指定文化財の総数は 82 件
- ・ 市民アンケートの文化・芸術・スポーツ活動への参加（参加意欲）は 39.4%
- ・ 市民アンケートの文化芸術活動によく親しんでいる割合は 24.5%
- ・ 市民アンケートの宝塚歌劇はまちの魅力であり財産であるは 66.5%、もっと市民が歌劇に触れる機会があれば良いは 43.4%
- ・ 誰もが身近で気軽に、文化芸術に触れ、創る喜びが実感できる環境づくりが必要
- ・ 地域に受け継がれた貴重な文化遺産などを伝え、まちに愛着をもってもらい、次世代に継承していくことが必要
- ・ 市民アンケートの国際交流活動への参加（参加意欲）は 11.4%
- ・ 市民主体の国際交流の展開が必要
- ・ 多文化共生社会の構築が必要

（4）めざすまちの状態

- （文化・国際交流）
- ・
  - ・
  - ・